

はた孝幸 県議会報告

発行所 : はた孝幸事務所
 発行者 : 福井県議会議員 畑 孝幸
 住所 : 〒9100043 福井市四十谷町 5-18
 TEL: 0776-59-1008 / FAX :0776-59-1777
 Email hata-co@mx1.fctv.ne.jp
 URL: <http://www1.fctv.ne.jp/~hata-co>



● 17年の歳月を経て 九頭竜川下流域農業用水パイプライン完成!

ムラにとって水は命だった! 豊作を願って人々は水路を巡らせた。
とうとう
 滔々とした水の流れは田畑を潤し、収穫の喜びは人々の心を満たす。
 (「千年水路をゆく」より引用)

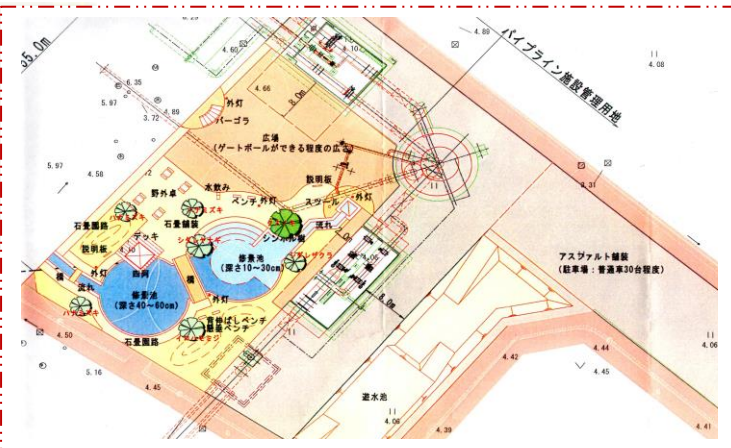
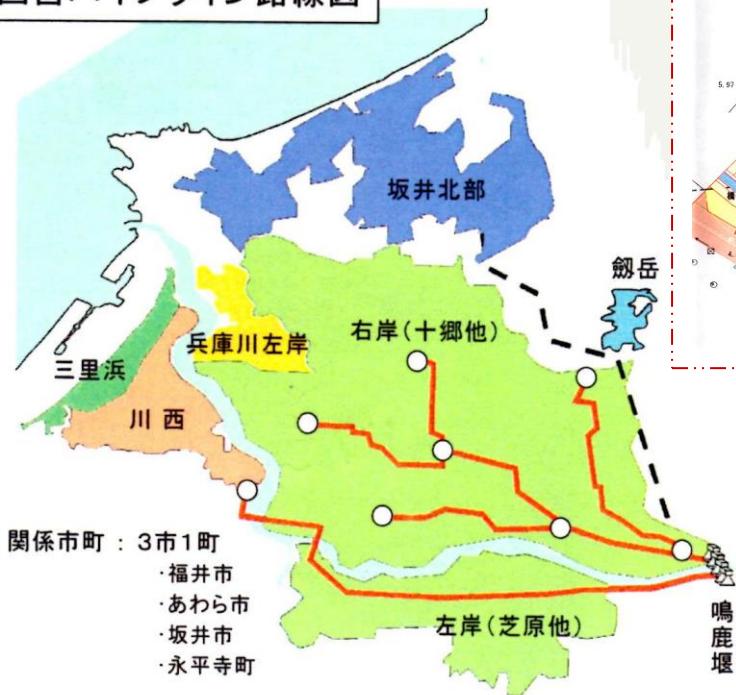
九頭竜川の流域面積は福井県の面積の約 7 割に当たり、1,000 年にわたって、本県の農業を支えてきました。この豊富な水を利用して、稲作を中心に大麦、大豆などを生産してきました。しかし、近年の温暖化による渇水や塩害を防ぐため、1999 年より農業用水パイプライン化事業が着手されました。ようやく、2011 年の『十郷用水』通水開始から、本年(2016 年)の「九頭竜川左岸用水」通水で完成の運びとなりました。17 年の歳月と事業費として 1,133 億円が投下されました。

鳴鹿大堰から地下を流れてくる九頭竜川の水は、水温が一定に保たれ、夏の夜間かんがいを容易にし、食味の良い米の生産につながるとともに、水路への転落事故の減少にもつながります。

三里浜砂丘地域では、園芸産地への復権も始まろうとしています。風雪に強いハウスの整備を支援することにより、ミディトマトや大根、ニンジン、更には、メロンやブドウなどの高収益品目の栽培拡大にも期待が高まります。

パイプライン化により、農業経営の安定と多様な農業へチャレンジできる環境が整いました。

国営パイプライン路線図



上の図面は、福井市江上町にできた調圧タンク付近に整備する予定の親水公園です。小水力発電所も作る予定です。

西藤島地区においては、左岸用水(芝原外輪用水)から分岐して、新たにパイプラインを敷設し(現在工事中)、平成 29 年 4 月より全面的に通水する予定です。

人づくり・地域づくり・ふるさと創生!

●産総研 福井へ！ 昨年6月の質問が現実！！

県民福井

2016年(平成28年)3月23日(水曜日)

福井県議会だより 平成27年6月定例会

産業技術研究所県内に拠点

政府方針 3機関は一部移転

政府が二十二日まとめた政府関係機関の地方移転の基本方針で、県内に四機関が「一部移転」するとされた。しかし肝心の中身は、産業技術総合研究所（茨城県つくば市など）が県内に「活動拠点を設置」するとしたものの、残り三機関は「共同研究」「県の新設組織への協力」「研修」の実施にとどまっている。

産業技術総合研究所

の研究拠点の誘致

畑 孝幸 議員
(自民党県政会)



問

知的財産立県を目指し、本県産業の更なる発展のために、日本最大級の公的研究機関である国立研究開発法人産業技術総合研究所の日本海側初となる研究拠点を、本県に誘致してはどうか、所見を伺う。

答

本県においても、ふくいオープンイノベーション推進機構において、ロボット分野のウェアラブル商品の研究について、産業技術総合研究所と緊密な連携を図っている。産業技術総合研究所は、産業技術分野の様々な研究開発について総合的に行っているため、今後、自治体間の誘致競争が激しくなることが予想されるが、ぜひ一度、本県への移転を提案し、感触を確かめた上で、誘致の可能性を検討したい。

●凍結されていたR416号線 まずは、佐野～山岸線の交差点まで、約65,000万円 ようやく工事着手！

ヒゲはたウォッチング



●9/27ドラゴンバー交流会にて、セイタカアワダチソウの駆除に参加！



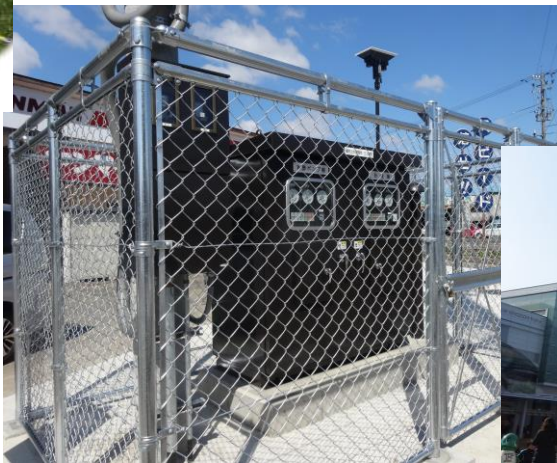
●3/1 土木警察委員会風景！ 屋外広告物条例の一部改正を可決！



●11/22 社会福祉歌謡大会にて！



●3/8 米原市のバイオマス発電所視察！3,500kw (大野の半分) 『いぶきクリーンエネルギー』



●3/20 西藤島地区の融雪装置ポンプ制御盤設置完了



●4月 福井駅前に『ハピリン』完成！ 恐竜も福井駅前で、歓迎！ 新幹線は、JR西案で推し進めよう！